

令和3年度第4回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和3年6月22日(火) 午後3時28分～午後5時30分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中峰寿彰 生涯学習部長 三上正洋
職務代理者 五十嵐紀子 学校教育課長 須藤友章
委員 馬場千晶 合宿の里・スポーツ推進課長
委員 加藤洋之 坂本英樹
委員 山田敦久 社会教育課長 武山鉄也
博物館長 大留義幸

4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

○中峰教育長あいさつ

先日は各学校の運動会にご出席いただき、子どもたちの元気な様子をご覧いただいた。多寄、上士別では天候に恵まれたが、朝日は開始間際に天候が悪化したため、やむなく1日順延し、昨日無事に開催したところ。改めて各地区ごとに運動会の特徴があると感じた。今月26日は温根別小の運動会だが、参加者、来賓ともに地域内住民に限定し開催するとのことである。南小学校の運動会は7月10日で、それ以外の学校は9月以降に開催される。

明日、6月23日はオリンピックデーである。オリンピックデーランについては時期をずらして開催するが、明日は橋本聖子さんが代表を務める「北海道オール・オリンピックズ」と包括連携協定を締結する。本日は元バレーボール日本代表の成田郁久美さんを講師に迎え、南中学校を会場に「オリンピック教室」を開催した。オリンピズムや、三つのオリンピックバリューであるエクセレンス、フレンドシップ、リスペクトについて実技と講義を交えた内容であり、生徒たちは楽しそうに活動していた。また、校長からは「本物」を直接見ることができる貴重な機会であり、非常に有意義な活動であるとの話があった。明日は朝日中学校で牧野市長と「北海道オール・オリンピックズ」のゼネラルマネージャーである鈴木靖さんが協定書に署名し、引き続き成田さんの「オリンピック教室」を開催する。

北海道に対する緊急事態宣言が解除されたことにより、社会教育・体育施設については21日から利用を再開した。しかし、児童館における中高生の利用や学校開放など一部に限っては、6月末まで引き続き休止している。

先月から学校職員のPCR検査を開始したが、検体を送ってから10日後によく結果が届いたり、指定した以外の方法で結果が送られるなどのトラブルが続いた。今月は問題なく結果が届いているようであり、校長会を通じて検査を勧める考えであったが、中には「なぜ検査を行うのか」と考えている教職員もいるようだ。一方で、ワクチン接種については副反応が出ている例もあり、任意で行うべきと考えている。本日はPCR検査やワクチン接種について、皆さんのご意見も伺いたい。来月から学校職員について優先的にワクチン接種を行うが、学校行事などもあるため、校内で調整したうえで接種してもらう考えである。

中学校で使用している歴史の教科書について、検定に通っていなかった会社が再度申請し、合格したため、7月8日に「第6地区教科用図書採択教育委員会協議会」を開催のうえ協議する予定であり、その結果を受け、本市教育委員会としても改めて判断することになる。また、昨年度の小学校、本年度の

中学校に続き、来年度は高校の教科書が新しくなる。東高校の教科書についても、教育委員会で採択決定する。

本日もよろしく願います。

1 議事について

○中峰教育長 進行

議案第10号 士別市学校備品管理規程の一部を改正する規程について、及び議案第11号 士別市公民館条例施行規則の一部を改正する規則について説明を求める。

○須藤課長

本市の組織機構が改正されたことにより、それぞれ規程と規則を改正するものであり、いずれも本年4月1日に遡って施行する。

○中峰教育長

この件に関してはよろしいですか。

(全員了承)

○中峰教育長

議案第12号 士別市教育委員会所管事務各種審議会委員の選任について説明を求める。

○大留館長

4月19日に開催した第1回教育委員会会議において、博物館協議会委員の選任について提案し、承認いただいたところだが、内容の一部が誤っていたため、再度提案するものである。選任予定者について確認作業が充分でないまま選任の手続きを行っていたものであり、今後、このようなことのないよう確認を徹底したい。

○中峰教育長

経過として、委員が退任するにあたり、前委員と同じ地域から新委員を選出した。委員の区分も整理し、改めてこの体制となることをご確認いただきたい。

2 その他について

◇第2回定例会一般質問について

○三上部長

第2回定例会では5人の議員から教育委員会の所管に対する質問があった。

(別紙資料に基づき説明)

○五十嵐職務代理者

郷土芸能に関する質問では「岩尾内太鼓」について詳しく答弁していない。今回の質問は特に後継者がいない団体について聞かれたのか。

○中峰教育長

答弁にあたっては、特に質問において具体的に示された活動団体を中心に、まちづくり総合計画の地区別計画で明記されている団体をピックアップし、加えて、行政として関わりのある部分について答弁したところ。

○武山課長

「岩尾内太鼓」については、湖水まつりで発表しているほか、通常の活動状況も把握している。

○五十嵐職務代理者

サンライズホールを中心に活動しているが、コロナ禍の中で休まざるを得ない状況である。

○中峰教育長

特別養護老人ホーム美土里ハイツの敬老会などでも演奏している。昨日の運動会の中でも、太鼓の演奏場面があった。

総合計画の地区別計画に記載されているもの以外に、特筆すべき郷土芸能はあるか。

○三上部長

「つくも太鼓」については答弁に至っていない状況にある。後継者もなかなか確保できていないようである。

○中峰教育長

「上土別宝来太鼓」は、東高校の生徒が総合的な学習の一環として学んできている。なお、今年度からは「学習」から「探求」に変更される。例年、学校祭で披露していたが、残念ながら本年は校外の人を入れずに開催する予定と聞いている。神社祭や文化祭で披露されることを期待したい。

◇令和4年度に使用する教科書について

○須藤課長

教育長のあいさつにあったとおり、中学校の歴史の教科書について新たに検定に合格した会社がある。参考としてご覧いただいているが、「第6地区教科用図書採択教育委員会協議会」を開催し、協議のうえ、教育委員会会議で決定いただくことになるので、ご承知置きいただきたい。

○加藤委員

昔の教科書と比較すると、大きく、重くなっているが、見やすくなっている。

○中峰教育長

現在使用している歴史の教科書には、「松浦武四郎」に関する記述が1か所ながらもあるが、新たに検定に合格した会社のものには全く記述されていない。

小学校3・4年生の社会科の授業では、市が独自に作成した副読本を使用している。教科書が変わるたびに作成しており、本年3月に完成したところである。

◇教職員等のPCR検査とワクチン優先接種

○須藤課長

本市では教員等の道費職員のほか、業務技師や特別支援教育支援員など市が雇用している人を含め、市立学校に勤務している人を対象にPCR検査を実施している。対象となる職員は239人おり、このうち197人が希望し検査を行っており、実施率はおよそ82%である。また、ワクチンの優先接種については、翔雲高校を含め希望者を募ったところだが、接種にあたっては住所地の市町村が発行する接種券が必要となることから、市外から通勤している職員については一部優先接種が困難な状況にある。小中学校の職員で、市内に住所を有する187人のうち153人、およそ82%が優先接種を希望しており、翔雲高校の26人を加え、全体で179人が申し込んでいる。今後のスケジュールとしては、今週末に接種券が郵送され、市のホームページもしくはコールセンターから各自予約していただき、7月上旬から接種が可能になると聞いている。

○中峰教育長

ワクチン接種については、副反応の恐れもあることから、個別の判断で実施していただく、即ち、任意選択が妥当と考えている。ワクチン接種後2週間ほどしなければ抗体ができないとの情報もあり、ワクチンを接種しても2週間後までPCR検査を行ってほしい。優先接種の対象は、ライフラインに携わる職員や学校、保育施設のほか、合宿の受入担当や公共交通機関関係者などである。また、ワクチ

ンの接種対象年齢が12歳以上に引き下げられたが、子どもたちの接種をどうするかは決定していない。学校で一斉に接種する案や接種時期なども示されたようだが、課題も多い。市の対策本部では、保護者に案内し、判断してもらう考えを基本としており、時間や場所について今後検討していくことになる。

○山田委員

学校行事との兼ね合いや、具合が悪くなる人も出ると思うので、そのことを想定した対応が必要である。

○中峰教育長

中体連等の大会の予定がある場合の日程調整など、学校内でスケジュールを調整してもらいたい。一般的に、若い人ほど副反応が反応が出やすいとも聞いている。

○山田委員

接種は任意の話があったが、する人とならない人が出てしまうなかで、保護者としては先生には接種してもらいたいと思うのではないかと。

○中峰教育長

免疫不全などの不安がある人は控えた方がよいとの話もあるので、医師に相談していただきたい。死亡者が出ているとの話もあるが、因果関係は証明されておらず、アナフィラキシーの心配のある方でも、問題なく接種できている状況もある。

○山田委員

SNSの情報などで混乱が起きている。若者の中には接種しない考えの人も多いようだ。

○加藤委員

不妊になるとのデマもある。一方でPCR検査を行う際の唾液採取でも躊躇する人もいるのか。説明に苦しむところもある。

○中峰教育長

検査というものは、体に異変が出たときに行うべきものと考えている教職員もいるようだ。

○加藤委員

知らず知らずのうちに、他人に感染させてしまう状況も起きていることを認識してもらいたい。

○中峰教育長

ある意味、健康診断と同じように考えてもらいたいとも思っているが、なかなかすべての人が理解してくれるには至らない。

○加藤委員

自分であれば、安全が確認できるので受けたいと思う。受けていない状況より安心できる。何よりお互いのためであると思う。

◇スマートフォン等情報通信機器の利用に関するアンケート

○武山課長

子どもたちが置かれている状況について調査するのが目的である。平成29年、令和元年に続き、3回目の調査である。単なる保有調査ではなく、インターネットリテラシーを実感してもらう内容にする。実施にあたり、校長会からも意見をいただいた。調査結果については、学校に提供する考えである。

○中峰教育長

Googleフォームを活用することにより、教員の負担軽減が見込まれる。保護者については紙ベースで回答してもらうことは可能か。

○武山課長

社会教育課に連絡していただき、聞き取り調査するか、回答用紙をお送りして対応いただくことはできる。

○中峰教育長

質問紙を配られた方が「回答しなければ」と思う割合が高くなるケースもある。質問に追加した方が良い項目などがあれば、ご意見をいただきたい。

○山田委員

どういった内容を聞きたいのか。

○武山課長

例えば、危険な思いをしたことがあるかを調べ、全体化して注意喚起したいと考えている。また、設問によっては、保護者と子どもの意識にギャップが見られることもあるので、そのあたりも把握したい。

○五十嵐職務代理者

危険な思いをしたかどうかはもちろんだが、夜遅くまで情報端末等を利用していることで、日中、居眠りしている子もいるようだ。睡眠不足などによって体に大きな変化が起きていないか知りたいと感じている。

○山田委員

項目を複雑にしすぎると混乱してしまうが、せっかくアンケートを行うのに、肝心なことが聞けないのでは意味がない。施策の方向性につながるような状況が見えた方が良いのではないか。

○加藤委員

データとしてある程度見ることはできるが、影響がどこまで及ぶかは判断できない。

話は逸れるが、今月、名古屋市で個人情報保護法の関係により、児童生徒の端末全てを使用中止にしたと報道されたが、本市ではどうなのか。

○須藤課長

報道を受け、本市の状況を確認し、対応検討を進めているところ。

○中峰教育長

個人情報の扱いは自治体によって違っており、保護者の同意を得る場合や、本市のように情報公開審査会を基本にしている場合などがある。誤解を招かないよう、保護者あてに文書を作成しているが、本庁の情報担当部局の確認を進めているところであり、今週中には保護者に配付する予定である。

○加藤委員

一般的に、教育による使用と一般の使用を混同してしまっている状況があるが、保護者ももっと理解を深めるべきと思う。

○中峰教育長

GIGAスクール構想が前倒しされ、一気に整備が進んだが、詳細部分で対応が追い付いていないと感じている。本市で行ったアンケートの結果の分析などだけで、自治体独自の改善策を講じたり、指針を示すことは困難でもある。文部科学省の近視調査についても同様だが、調査結果を踏まえ、啓発を中心に対応していきたい。

○加藤委員

児童・生徒には、学校でアンケートに答えてもらえば良いのではないか。

○中峰教育長

前回の調査では、子どもの回答と保護者の回答にギャップが生じていた。また、課金の事案なども含め、子どもたちと保護者の間で生じるギャップなどについては正しく分析できない恐れもある。保護者自身がどのような使い方をしているのかということも、子どもたちに大きく影響している実情を、ど

う捉えればよいかも、悩ましい課題である。

○山田委員

親のモラルが問われることになる。

○加藤委員

我々は下地がないまま情報端末を使用するに至ってきた。生まれた時から情報端末等に囲まれ、幼い頃から使用している子どもたちの方が格段に詳しい状況にある。

○山田委員

せっかくの機会なので、より良く活用するための足掛かりにできればよい。

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

○坂本課長

スポーツ能力向上事業については、本市で合宿を受入れるチームに依頼する予定である。昨年はダイハツ陸上部が土別小学校で走り方教室を行っており、今年も実施に向けて調整しているところ。

○山田委員

ディスタンスチャレンジの出場選手は決定しているのか。

○坂本課長

現在、集計中であり、近日中に決定する予定である。土別は初戦であり、2戦目以降と比較すると出場選手が少なくなりそうである。大会は一般の観客を入れず開催する「無観客」として取り扱うが、構成団体の方々には、来場いただける状況とする。したがって、来場を予定される教育委員の皆さんも当日まで健康観察を行い、チェックシートを持参のうえ来場いただきたい。なお、土別ディスタンスについては開催を取りやめた。

午後5時30分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中峰 寿彰

会議録調整者 須藤 友章